

# 嶺北高校の生徒会選挙

担当教師 川渕祐介／生徒会長 本橋佐和



高知県立嶺北高等学校





# 高知県立嶺北高校

(県北部 本山町)

生徒数94名

県外出身者も在籍 (25名)





**民主主義の担い手は育っているか？**

**→選挙・被選挙の経験の充実**

**生徒会活動は形骸化していないか？**

**→生徒主体を実現する改革**

**生徒の声 「校則を変えたい」**  
**→条件整備に着手**

- 生徒の**代表**を核とする**自治的な活動**  
→ その**正統性**の源泉が**生徒会選挙**
- 教師は自治的活動を支え、伴走する  
→ 適切な助言、校内手続きの整備等

- × 立候補者が少ない
- 生徒が挑戦しようと思える仕組みに
- × 「1人1票」は本当に民主的か？
- 生徒の意思が尊重される仕組みに

- ・ 教科と特別活動の往還

教科（公民科）の見方・考え方

↓ ↑ 相乗効果

特別活動（生徒会、ホームルーム）で実践

例：公共の授業 「理想の選挙制度を構想しよう」

**重複立候補**で挑戦を後押し  
&  
**1人1票ではない**投票方式



**従来の制度**

「一騎討ちで勝ったり負けたりしたくない」

→定員を超えそうなときは**立候補を回避**する傾向

「執行部の役職が細かく分けられていたので、かえって学校行事の役割分担が決めづらかった」

→一部の役職が**形骸化**していた

→生徒会長と体育委員長、どっちが体育祭を仕切る？

**現行の制度**

「重複立候補ができるから、挑戦しようと思えた」

「会長にはなれなかったけど、執行委員として生徒会執行部の活動ができてよかった」

「順位をつけるから、全候補者をちゃんと見て意思を反映できると思った」

**従来**

生徒会長 1	
副会長 2	
生徒会書記 1	生徒会会計 1
文化委員長 1	体育委員長 1
保健委員長 1	環境委員長 1
交通委員長 1	図書委員長 1

←役職ごとに少ないイスを争う  
「負けたら終わり」の選挙なので、立候補に消極的になりがち  
そこで・・・

## 従来

生徒会長 1	
副会長 2	
生徒会書記 1	生徒会会計 1
文化委員長 1	体育委員長 1
保健委員長 1	環境委員長 1
交通委員長 1	図書委員長 1

統合

## 現行

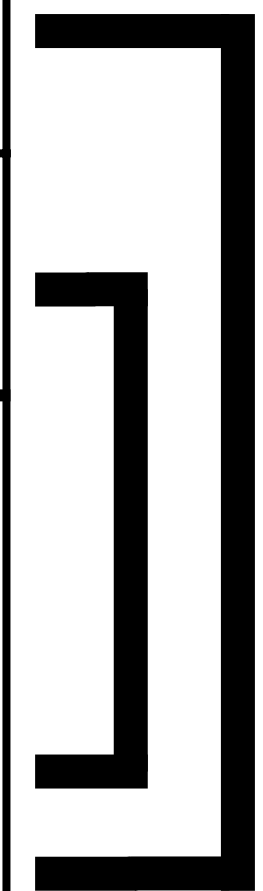
生徒会長 1
副会長 2
<b>執行委員 6</b> (形骸化を解消、 機動的な役割分担)



生徒会長選・副会長選で  
落選しても**執行委員**選で  
当選するチャンスがある  
**重複立候補**を選択できる  
(単独立候補も可)

→制度で挑戦を後押し

生徒会長 1
副会長 2
<b>執行委員 6</b>



**重複立候補**

候補	
③武	織田信長
③武	豊臣秀吉
③武	徳川家康
③茶	千利休

票割れ

**想定されるケース**

1人1票の単純多数決では、  
3人の武将の間で票が分散する  
「票割れ」が生じ、茶人・千利休  
が当選する  
= 多数決で多数派が敗北

## 「1人1票」ではない投票方式

- ・ リーダーを選ぶ会長選挙・副会長選挙は、順位をつける「ボルダールール」
- ・ 執行委員選挙は、候補者ごとに当選の是非を判定する「是認投票（認定投票）」

順位（得点）	候補
1 位（4 点）	徳川家康
2 位（3 点）	豊臣秀吉
3 位（2 点）	織田信長
4 位（1 点）	千利休

- ・ 全員に順位をつけ投票（1 点差で配点される）
- ・ 意思反映の度合い高い
- ・ 票の割れに強い



**1 人 1 票より優れた方式**



会長選挙（定員 1）\*

ボルダールル

1 位（4 点）

2 位（3 点）

3 位（2 点）

4 位（1 点）

織田信長



豊臣秀吉



徳川家康



千利休



部外者に非公開かつ  
秘密投票に対応

ボタンを選択するだ  
けなので簡単

集計の手間やミスの  
心配がない

（紙では困難）

是	候補
<input checked="" type="checkbox"/>	豊臣秀吉（重複）
<input type="checkbox"/>	千利休（重複）
<input type="checkbox"/>	毛利輝元
<input checked="" type="checkbox"/>	伊達政宗
<input checked="" type="checkbox"/>	井伊直虎

- 全ての候補者に対し個別に「当選してほしいか」判定
- 1人1票よりも意思を反映
- 候補者が多数でも投票者の負担が軽い
- 重複立候補者も同時に選挙できる

## 執行委員選挙（定員6）

是認投票。あなたが「当選してほしい」と思う候補に投票（チェック）してください。  
投票する数は何人でもかまいません。

- ☒ 豊臣秀吉（重複）
- ☐ 千利休（重複）
- ☐ 毛利輝元
- ☒ 伊達政宗
- ☒ 井伊直虎
- ☐ 小早川秀秋
- ☒ 島津義久
- ☒ 三好長慶
- ☐ 尼子晴久

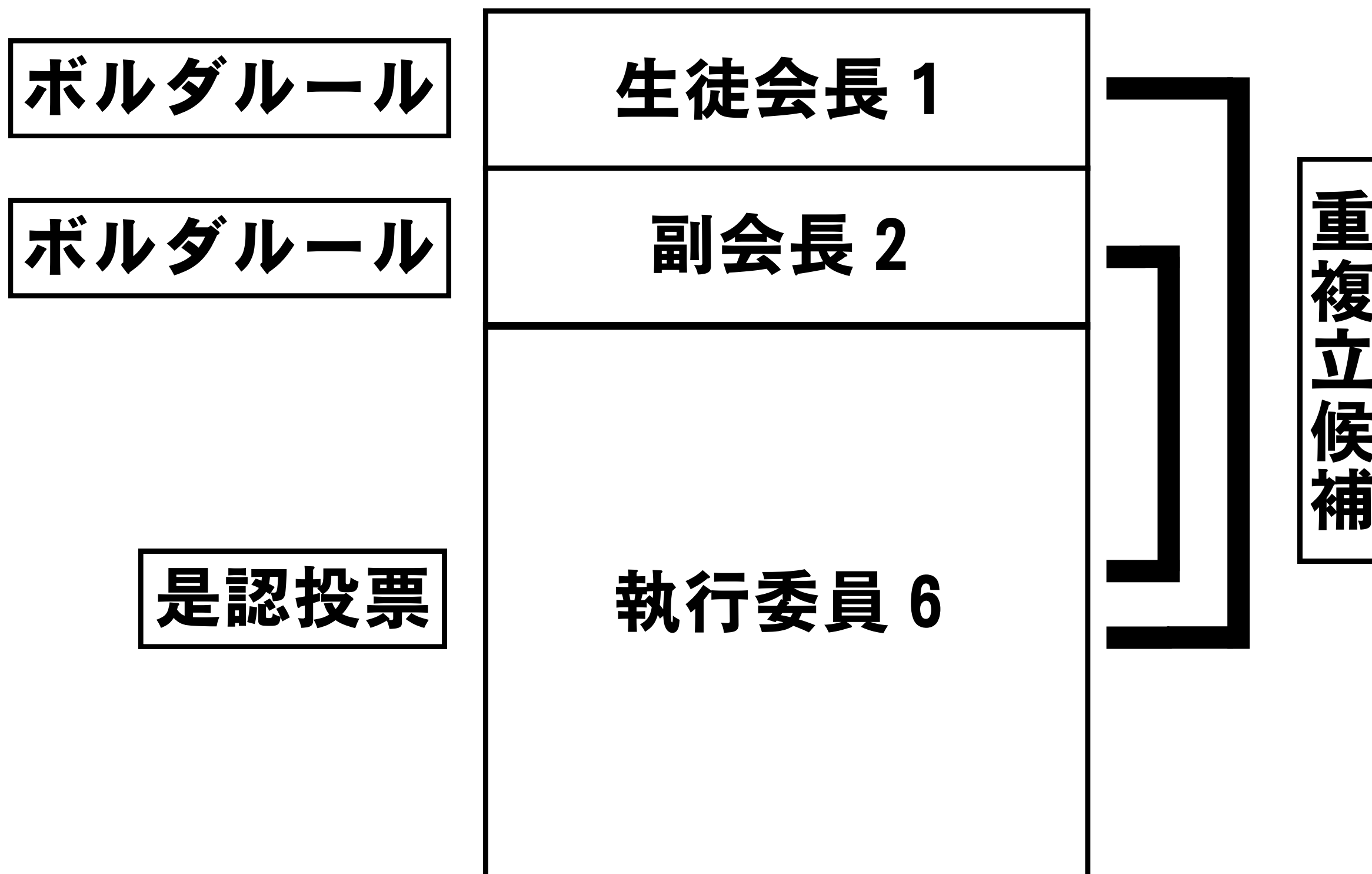
送信

フォームをクリア

こちらボタンを  
チェックするだけ

送信で完了

実社会では実現が  
難しい電子投票も  
学校では活用する  
メリット大！





## 生徒会長選挙の競争倍率

令和5年度 1倍

令和6年度 3倍

令和7年度 4倍

令和7年度の選挙全体では  
73人中14人が立候補  
(1・2年生の2割弱)





選挙制度は**生徒会会則**で規定

(**生徒総会**に**改定案**を提案→採択)

◎ 既存の手続きを生かす = **正統性・持続可能性**

◎ 絶えずルールを見直し、改善する = **暫定解**

◎ 「地域高2留学」生にも門戸を開く = **包摂性**



## 生徒会副会長の公約

「万博に合わせて、生徒会の企画として国際交流のイベントを実施し、地域の方々も呼びたい！」





- ① 学校行事の時期の検討に生徒会役員が参画
- ② 校則等検討委員会による校則見直し
- ③ 一般生徒が属する委員会活動の充実
- ④ 「マジョリティー・ジャッジメント (※)」  
による意思決定の拡充

(※) 各候補を絶対評価し、中央値で勝者を決める方式。票の割れや戦略投票に強いという特長がある。



- ・ **現実社会では難しいことを高校が先取り**
  - **生徒の挑戦が現実社会を変える力に**
  - **教師の後押しが生徒の挑戦を支える**

# 全員が生徒会！



高知県立嶺北高等学校

# 高校の挑戦が社会を変える



高知県立嶺北高等学校